

# 30日に新病院建設特別委員会が開催されました。

## 3月25日社会福祉協議会評議員会

今回の議題は平成22年度の事業計画と予算の審議承認でした。22年度の新しい事業には、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康など様々な面から支える為総合相談業務や介護予防ケアマネジメント事業などをおこなう「地域包括支援センター事業」を受託し市南部地区の業務の実施や、これまでの「生きがい型デイサービス事業」が「認知症・閉じこもり予防教室」通称「楽笑教室」と名を変えて引き続き社協が実施します。また、浅羽会館の解体により、社協の浅羽支所を市の浅羽支所3階に移転することや、同じく袋井・浅羽の訪問介護事業所を統合し同じく浅羽支所に事務所を移転することになりました。

また、22年度には市と社協が協力して「地域福祉活動計画」の策定が進められます。

## 3月26日参院選予定渡辺氏候補来る

渡辺浩美氏とともに各種団体を訪問し、懇談を行いました。最初に社会福祉協議会を訪問、原田会長、山本事務局長が対応してくれました。「社協ではいま小学校単位の地域福祉の組織づくりをすすめ、地域住民が地域を協力して守っていかうと取組みを進めているがその裏づけとなる財源がない。こういうところにも財源の手当をしてほしい。」などの要望が寄せられました。袋井商工会議所では高橋事務局長が対応していただきました。「中小企業は大手からのしわ寄せでなかなか上向きにはなっていない。行政と協力できることは協力し、意見要望もきっちり伝えて行きたい。」と話してくれました。

民主党政権に変わって各団体が共産党にも垣根なく対応してくれるなど変化を実感しました。

その後、社会福祉法人「なごみかぜ」を訪問。大場理事長から「障害者自立支援法」の問題点や、障害者の就労支援への要望をいただきました。また大

型耕種農家寺田修司氏を訪問。そば工房を見学させて頂くとともに懇談。寺田氏からは、農業に真剣に頑張っている人が報われる農政をしてほしいなどの声が寄せられました。



「なごみかぜ」の玄関での渡辺浩美候補

## 3月30日新病院建設特別委員会

2月議会を挟んで2ヶ月ぶりの開催となりました。今回の報告は新病院院長予定者の内定、新病院建設基本計画、用地造成の業者選考プロポーザルの実施、関連道路整備費の組合負担についての協議、新病院建設基本設計でした。基本計画のなかの財政計画では土地購入費を20億円、設計管理に5.4億円、新病院工事費に12.9億円、医療機器等整備費6.9億円の総計22.5億円。財源は補助金の他、企業債及び両市の財源で賄うとしています。医師数の想定は、開院時95名、6年後には110人。9年目には黒字化するとしています。議論が紛糾したのは、関連道路整備費の負担協議の考え方で、市の提案にはほとんどの議員が納得せず、掛川市との厳しい姿勢での交渉を求めました。

## 高橋よしひろの議会活動通信

2010年4月1日号

袋井市大谷245 TEL・FAX (48) 6100

E-mail: wbs35910@mail.wbs.ne.jp

<http://www.yoshihiro-takahashi.net>

ブログ「美博の東奔西走」更新中！